

**製品名: CD101 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08182**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	130kDa

**抗原情報**

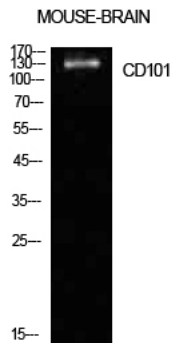
遺伝子名	CD101
別名	CD101; EWI101; IGSF2; V7; Immunoglobulin superfamily member 2; IgSF2; Cell surface glycoprotein V7; Glu-Trp-Ile EWI motif-containing protein 101; EWI-101; CD101
遺伝子 ID	9398.0
SwissProt ID	Q93033
免疫原	抗血清はヒト CD101 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 731-780

**背景**

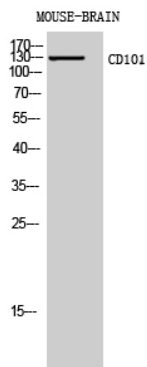
機能: CD3 誘導性の T 細胞増殖を阻害する。活性化 T 細胞における IL2RA の発現および IL2 の分泌を阻害する。IL2 産生および細胞増殖に必要なチロシンキナーゼを阻害する。ホスホリパーゼ C- $\gamma$ -1/PLCG1 のリン酸化およびそれに続く CD3 誘導性の細胞内遊離カルシウムの変化を阻害する。活性化 T 細胞核因子の核への移行を阻害する。皮膚樹状細胞による IL10 分泌を介して T 細胞増殖の阻害に関与する。CD4(+) CD56(+) 白血病腫瘍細胞のマーカーとなる可能性があります。PTM:N-グリコシル化されています。類似性:7 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。組織特異性:肺、胸腺、小腸で発現します。皮膚樹状細胞、活性化 T 細胞、単球、顆粒球、および樹状形態の上皮細胞で検出されます。一部の白血病細胞、CD4(+) CD56(+) 芽球性腫瘍細胞、および LCH (ランゲルハンス細胞組織球症) 患者のランゲルハンス細胞で発現します。機能:CD3 によって誘導される T 細胞増殖の阻害剤として機能します。活性化 T 細胞上の IL2RA の発現と IL2 の分泌を阻害します。IL2 産生および細胞増殖に必要なチロシンキナーゼを阻害します。ホスホリパーゼ C- $\gamma$ -1/PLCG1 のリン酸化と、それに続く CD3 誘導性細胞内遊離カルシウムの変化を阻害します。活性化 T 細胞核因子の核への移行を阻害します。皮膚樹状細胞による IL10 分泌を介して T 細胞増殖の阻害に役割を果たします。CD4(+) CD56(+) 白血病腫瘍細胞のマーカーとなる可能性があります。PTM: N-グリコシル化。類似性: 7 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。組織特異性: 肺、胸腺、小腸で発現します。皮膚樹状細胞、活性化 T 細胞、単球、顆粒球、および樹状形態の上皮細胞で検出されます。一部の白血病細胞、CD4(+) CD56(+) 芽球性腫瘍細胞、および LCH (ランゲルハンス細胞組織球症) 患者のランゲルハンス細胞で発現しています。

## 研究分野

## 画像データ



CD101 ポリクローナル抗体を用いたマウス脳細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



CD101 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いたマウス脳細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。

